Rinnai

電子ジャー付ガス炊飯器

RR-S15VNS（業務用）

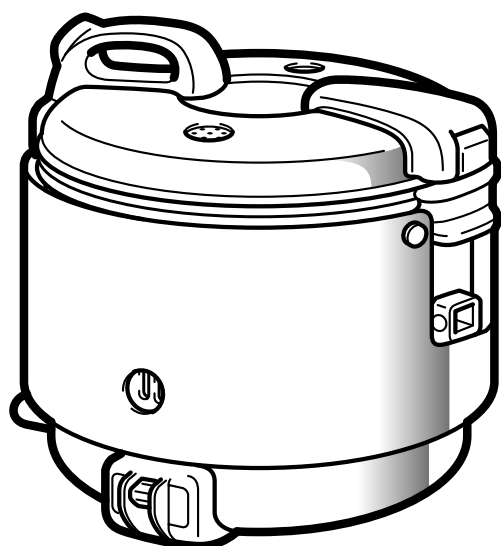
取扱説明書

（保証書付）

もくじ

お使いになる前に

使いかた

困ったときは

ご愛用の皆様へ

このたびは、電子ジャー付ガス炊飯器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、安全に正しくお使いください。
●本製品は業務用として作られています。
●使用者が代わった場合には、必ずこの取扱説明書を読んでいただき、かつ指導してください。
●本製品は国内専用です。海外では使用できません。
●取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にお問い合わせください。
●取扱説明書は裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

安全のために必ず守ってください

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

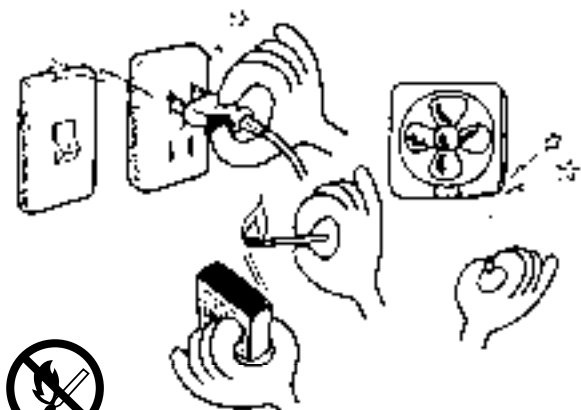
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

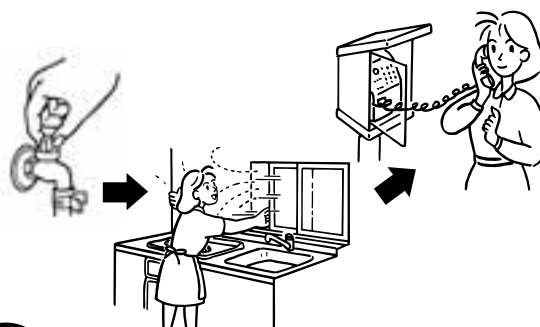
●絵表示については次のような意味があります。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。	火災注意 感電注意 高温注意
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	火気禁止 接触禁止 分解禁止 ぬれ手禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。	電源プラグをコンセントから抜く 換気必要

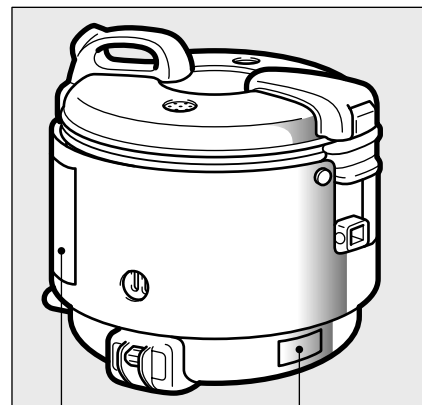
⚠危険

■ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

■ガス漏れに気づいたらすぐに使用を中止する

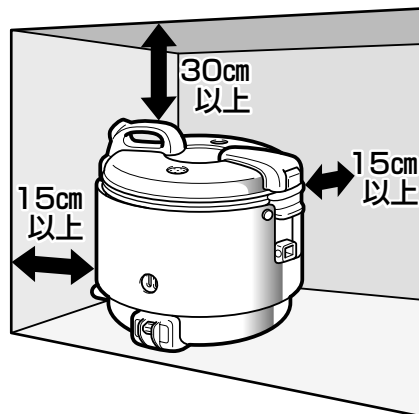
①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
②窓や戸を開けガスを外に出す。
③お買い上げの販売店または
　もよりのガス事業者に連絡する。

⚠警告

■機器に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧／周波数）以外のガスおよび周波数では使用しない

- ●表示のガス種および電源が一致していない場合、不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器の故障の原因になりますので、使用しないでください。
- ●転居されたときも、供給ガスの種類・電源の種類が機器の表示と一致していることを確認してください。
- ●銘板は本体の左側に張ってあります。わからない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にお問い合わせください。

■可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例で定められていますので、必ずお守りください。距離が近いと火災の原因になります。
また可燃性の壁にステンレス板などを張った場合でも可燃物と同様の距離が必要です。

以下の場合は必ず別売の防熱板を取り付けてください。☞8ページ

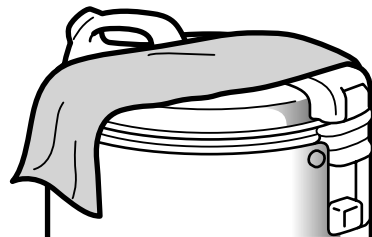
- ●可燃性の壁（ステンレスやタイルを張った可燃性の壁も含む）との距離を下図のようにとれない場合
防熱板は、お買い上げの販売店またはガス事業者にお問い合わせください。

■設置後、機器の周辺を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す

⚠警告

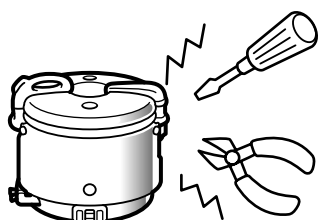
■**機器の上や周囲に調理ラック、カーテン、紙ぶくろ、ペットボトル、調理油などの可燃物やスプレーなどの引火性のものは置かない。**

焦げたり燃えたりして火災の原因になります。

■**ふきん・タオルなどを機器にかぶせない。**

不完全燃焼や機器損傷・火災の原因になります。

■**絶対に改造・分解は行わない。**

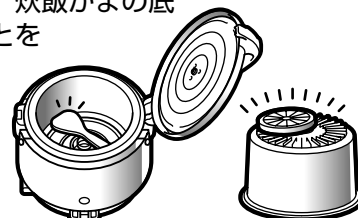
一酸化炭素中毒、ガス漏れ、火災、動作不良の原因になります。

分解禁止

■**地震、火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。**

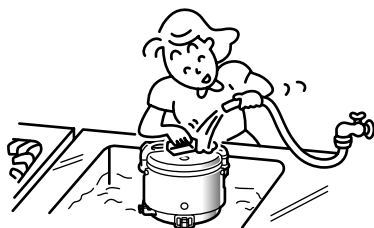
■**機器の給排気口やすき間にピンや針金などの金属物など異物を入れない。**

感電や異常作動してけがをすることがあります。

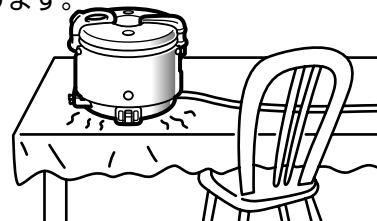
■**炊飯かまをセットする時、燃焼部にしゃもじやスプーン等の異物がないことを確認する。**

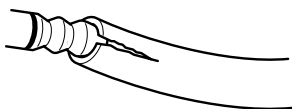
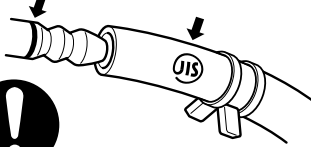
炊飯かまの底に排水口キャップなどが引っ掛る場合がありますので、炊飯かまの底にも異物がないことを確認してください。

■**機器を水につけたり、水をかけたりしない。**

漏電・ショートして感電・発火のおそれがあります。

感電注意

■**機器の下に新聞紙、ビニールシートなどの燃えやすいものを敷かない。**

火災の原因になります。

火災注意

■**ガス事故防止**

- ゴム管はガス用ゴム管(検査合格又はJISマークの入っているもの)を使用してください。又、ひびわれしたり、差し込み口がゆるんでいるとガスが漏れてガス中毒やガス爆発の原因になります。傷んだゴム管は必ず取り替えてください。

- ゴム管は、ガス接続口の赤線まで差し込みゴム管止めで確実に止めてください。

- ゴム管の継ぎたし及び二又分岐はしないでください。

⚠警告

■機器を移動するときは、炊飯中・炊飯直後はさける。

炊飯中・炊飯直後の機器は高温のため危険です。転倒すると火災・やけどの原因になります。

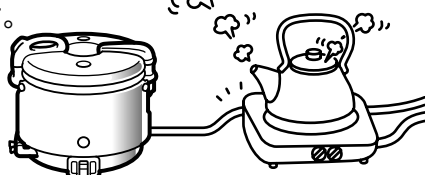
・保温中に持ち運ぶ場合はやけどにご注意ください。

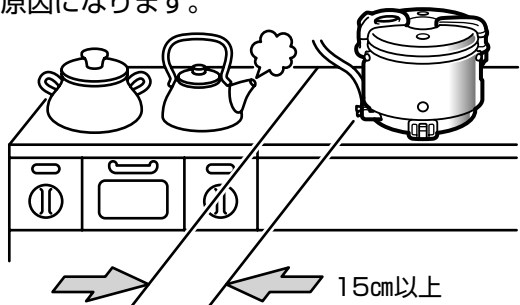
■異常時はすぐに使用を中止し、火を消し、ガス栓を閉める。

地震、火災、異常な燃焼、臭気、異常音を感じたときは、すぐに使用を中止してください。

19ページを確認し、必要に応じて、お買い上げの販売店またはフリーダイヤルにご連絡ください。

■ゴム管・電源コードは炊飯器や他の機器の下を通したり、他の熱源機器にふれない。無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。

使用時は周囲が高温になり、ゴム管、電源コードが過熱されガス漏れや感電の原因になります。

■ゴム管はガステーブルなどの他の熱源機器から15cm以上確実に離す。

距離が近いと高温になり、ゴム管が過熱されガス漏れの原因になります。

■使用後は消火を確認する。

使用後は必ず消火していることを確かめてください。ガス栓も閉じてください。

■機器の周辺ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを使用しない。

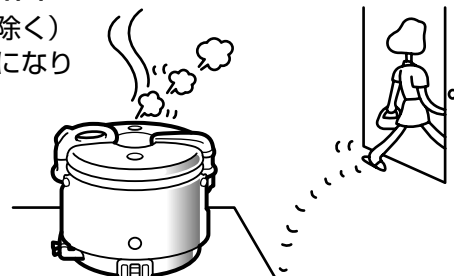
火災の原因になります。

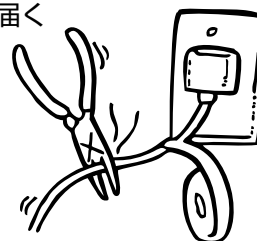
■電源プラグは根元までしっかりコンセントに差し込む。

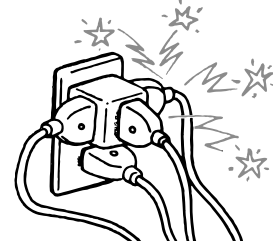
感電・発熱による火災の原因になります。

■炊飯中の外出はしないでください。

（保温時は除く）

火災の原因になります。

■電源コードを切断して延長はしない。

電源コードがコンセントに届く範囲にする。感電や火災などの原因になります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外で使わない。

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■電源プラグのほこりはふき取る。

火災の原因になります。

⚠警告

■**ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない。**
感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

■**炊飯直後に外わく、炊飯かまを持ち運ばない。**
炊飯直後は高温のため危険です。転倒すると火災・やけどの原因になります。

⚠注意

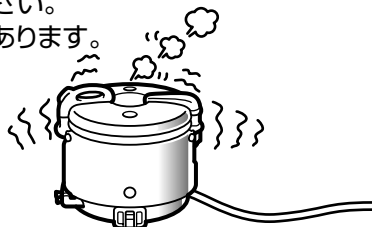
■**水平で安定性のよい台の上に設置する。**
不安定な所や傾いた所に設置すると機器が傾いて、やけどやけがをするおそれがあります。

■**棚の下など落下物の危険のある場所に設置しない。**
機器の上に落ちたものが燃えて、火災の原因になります。

■**炊飯中や炊飯直後は、蒸気口に顔や手を近づけない。また、炊き上がり直後はふたを開けない。**
炊飯中は蒸気口から、炊き上がり直後はふたを開けたとき多量の蒸気がでますのでやけどをするおそれがあります。

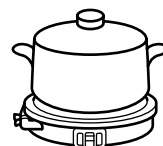
高温注意

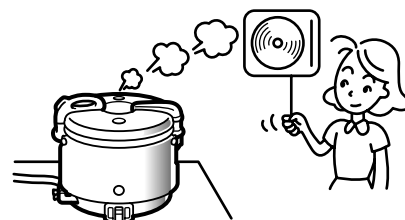
■**炊飯中、炊き上がり直後はボタン・炊飯レバー・取っ手以外は手を触れない。**
高温になっていますので、特に小さなお子様にはさわらせないでください。
やけどをすることがあります。

接触禁止

■**機器の周囲に樹脂製品などの熱に弱いものを置かない。**
変形または変色するおそれがあります。

■**車両船舶での使用はしない。**
使用中に機器が傾いたりし、火災ややけどの原因になります。

■**感熱部はいつもきれいにする。**
汚れていたり、炊飯かまとの間に異物があるとセンサーが正常に働かないことがあります。

■**専用の外わく、釜以外は使用しない。**
過熱・異常燃焼による火災などの原因になります。

■**お部屋の換気口（吸気口・排気口）は常に確保し、使用中は換気をする。**
不完全燃焼の原因になります。

換気必要

■**強い風の吹き込むところには設置しない。**
故障や炊飯不良の原因となります。点火不良や途中消火、機器内部の損傷、安全装置が正しくはたらかないなどの原因になります。

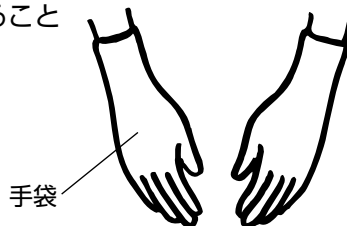
■**湯沸器の下に設置しない。**
湯沸器の不完全燃焼防止装置がはたらき火がつかない場合があります。また、湯沸器の寿命を縮めます。

⚠注意

■子どもだけで使わせない。
幼児の手の届くところで使わない。

思わぬ事故の原因となります。特に幼児にはさわらせない。

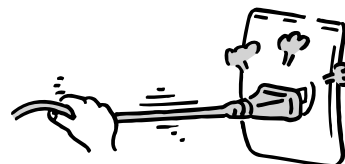
■点検・お手入れの際の注意。

点検・お手入れの際は必ず手袋をして行ってください。手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。

■点火したままでは、炊飯かまを絶対に外さない。

・必ず、消火後冷えてから、炊飯かまを外す。
・必ず、炊飯かまをセットした後で点火操作をしてください。

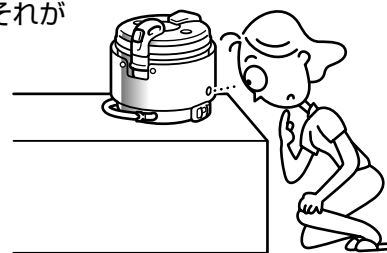
やけどや過熱による火災などの原因になります。

■電源コードを持って引き抜かない。

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに、電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱると電源コードが破損し、感電、ショート・火災や機器故障の原因になります。

■外ぶたは取っ手を持って確実に閉める。

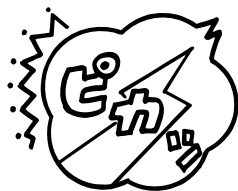
外ぶたがいきおいよく閉まり、手をはさむことがあります。
また、炊飯不良の原因になります。

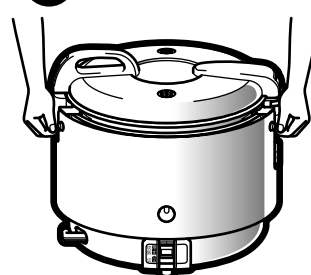
■点火操作をするときは、点火確認窓に顔を近づけ過ぎない。

やけどをするおそれがあります。

●機器本体・外ぶたには安全に関する注意が表示してあります。汚れたり、読めなくなったときは、やわらかい布などで汚れをふき取ってください。また、お手入れの際に、たわしなどを使う場合はご注意ください。

お願い

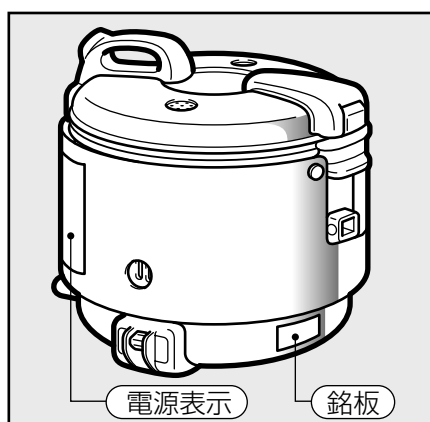
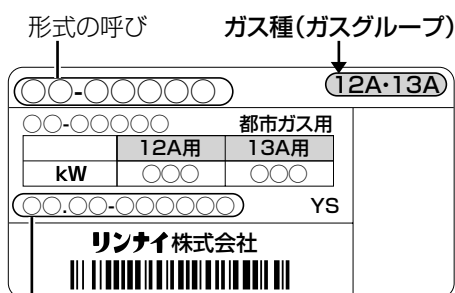
■雷時の注意。

雷が発生しはじめたらすみやかに運転を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

■器具の持ち運びは、外ぶた取っ手を持って行わない。

外わく取っ手を両手で持って運んでください。

正しい外わく取っ手の持ちかた

使用前の準備

1 使用ガス・電源を確認する

機器に表示しているガスの種類と使用するガスが一致しているかまず確かめてください。

〈例〉銘板（12A·13Aの場合）

●使用電源、周波数は、交流100V 50-60Hz（一般家庭用コンセント）を使用してください。これ以外の電源では絶対に使用しないでください。

2 ガスを接続する

●ゴム管はφ9.5mm ガス用ゴム管を使用してください。

●ビニール管は絶対に使用しないでください。

●ガス接続口の赤線まで差し込み、ゴム管止めで確実に止めてください。

●ゴム管は2m以下で適当にゆとりをもたせ、折り曲げないようにしてください。

●ゴム管は炊飯器の下を通したり、接触させないようにしてください。

●ゴム管の継ぎ足しや二又分岐はしないでください。

お願い

古いゴム管はガス漏れの原因

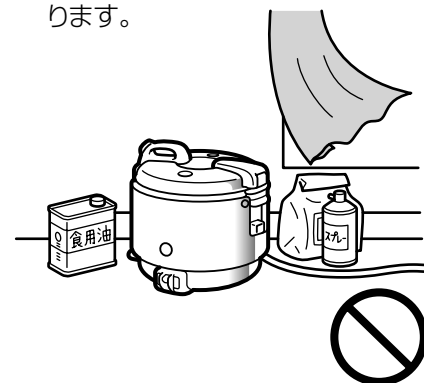
ゴム管は２～３年を目安に取り替えてください。古くなるとヒビ割れして、ガス漏れの原因になり危険です。又、取り替えの際、ガス接続部に傷がついたり、異物が付着するとガス漏れの原因になりますので、ていねいにお取り扱いください。

3 設置場所の注意

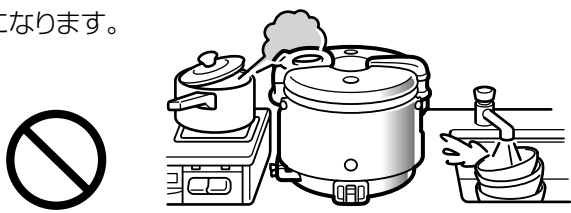
●安定した、落下物や風の心配のないところ

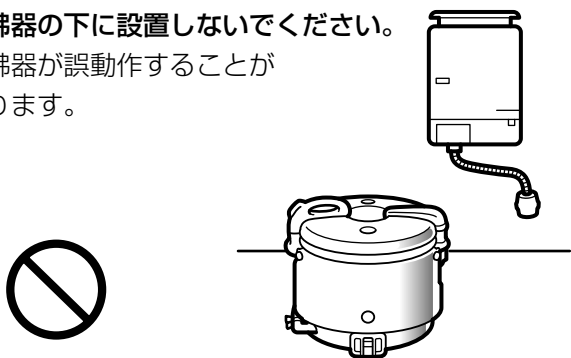
棚の下など落下物の危険があるところや、不安定なところ、風のあたるところでは使用しないでください。機器の上に落ちたものが燃えて火災になる恐れがあります。

●可燃物のないところ

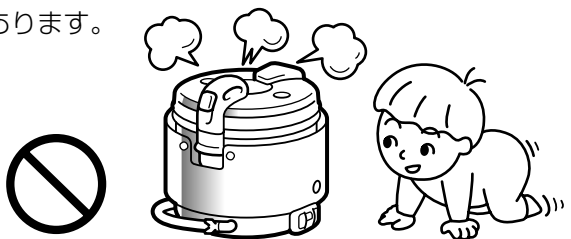
機器の上やまわりには可燃性（カーテン・紙ぶくろなど）や引火性（スプレー缶など）のものは置かないでください。使用中に近くのものが燃えて、火災になることがあります。

4 壁や上方と間隔をとる

●水や熱のかからないところ

水のかかるところや、湿気のあるところ、他の熱源の近くでは使用しないでください。機器の損傷や故障の原因になります。

●湯沸器の下に設置しないでください。

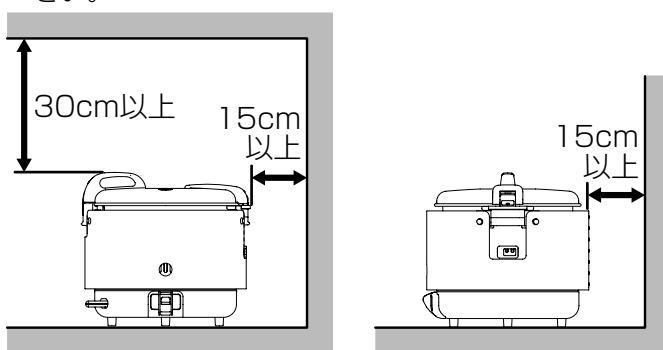
湯沸器が誤動作することがあります。

●幼児の手の届かないところ

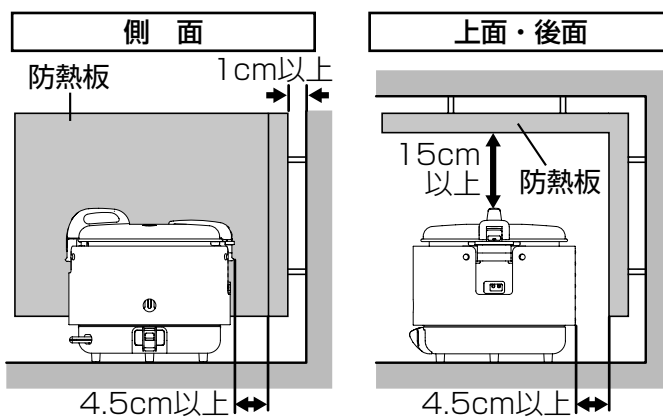
幼児の手の届くところでは使用しないでください。本体に触れてやけどしたり、蒸気でやけどする恐れがあります。

●換気のできるところ

お部屋の換気口（給気口･排気口）は常に確保し、物などでふさがないでください。

又、炊飯中は換気扇を回すなどして換気をしてください。

●周囲の壁などが木材のような可燃物の場合

壁から15cm以上、上方30cm以上必ず離してください。

●可燃物の壁から15cm以上、上方から30cm以上離せない場合

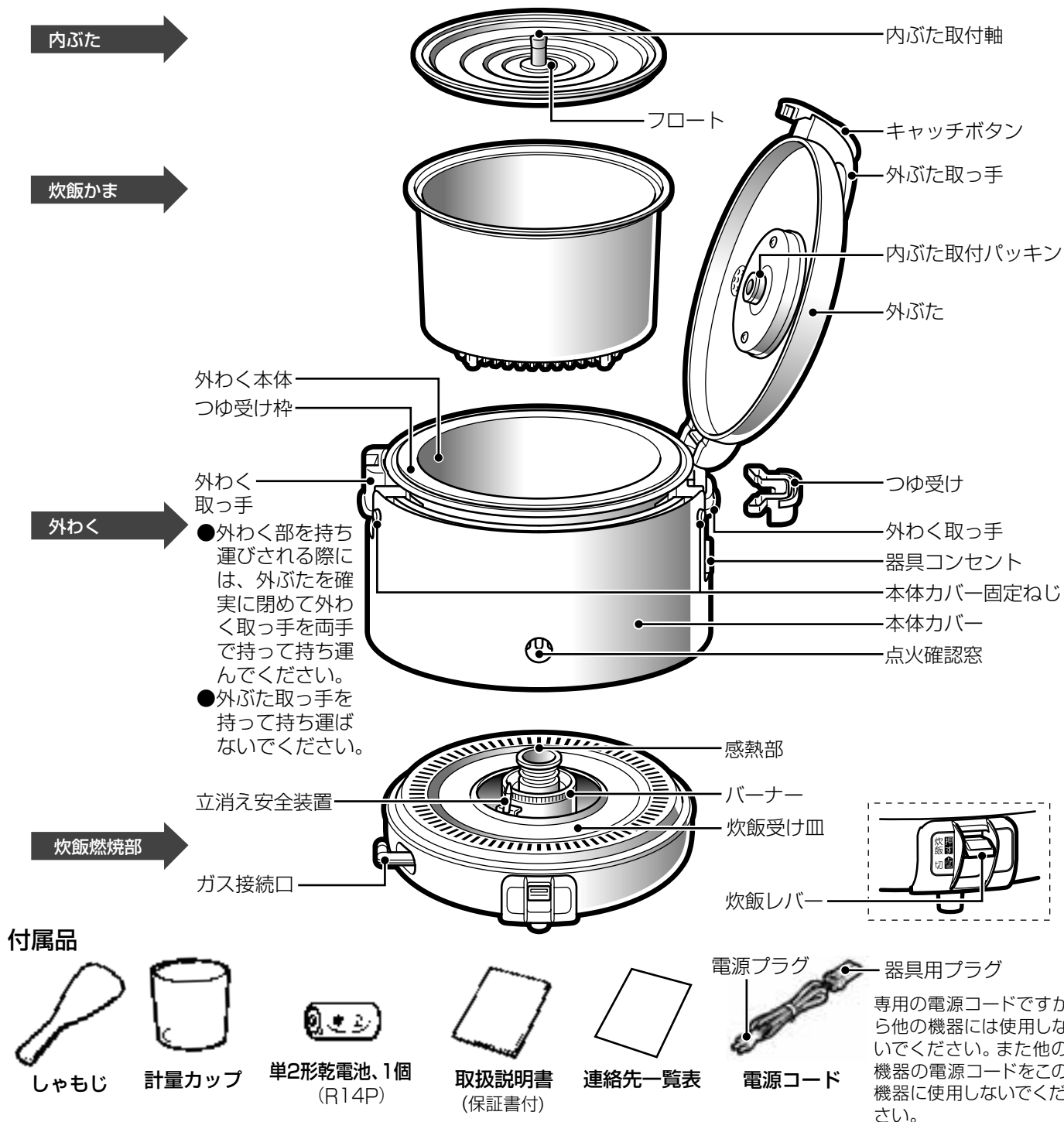
防熱板を壁に取り付けてください。

●防熱板について

材　　質	厚　さ	ご　注　意
鋼　　　　板	0.6㎜以上	可燃物と1㎝以上の空間をとり、有害な変形のないよう補強してください。
ステンレス鋼板	0.6㎜以上	

防熱板については、お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にお問い合わせください。

⚠ 警告

設置するときは可燃物との距離を確実に離す。
(火災予防条例で規制されています)
距離が近いと火災の原因になります。

各部の名称

●はじめてお使いのとき

●外ぶた・外わく・炊飯燃焼部はきれいな布で拭いてください。炊飯かま・内ぶた・しゃもじ・計量カップなどは中性洗剤で洗った後、きれいな布で水気を拭きとってください。

●乾電池をセットしてください。電池ケース（炊飯燃焼部裏側にあります）に⊕⊖の方向を確かめて乾電池をセットしてください。単2形乾電池、1個使用です。

お願い

●付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。

●乾電池が消耗すると点火しにくくなります。「パチパチ」と放電間隔が長くなったら、早めに新しい乾電池にお取り替えください。

ご飯の炊きかた

●お米の準備

1 お米を計って洗米する

●付属の計量カップすりきり1杯で約180㎖（1合）。

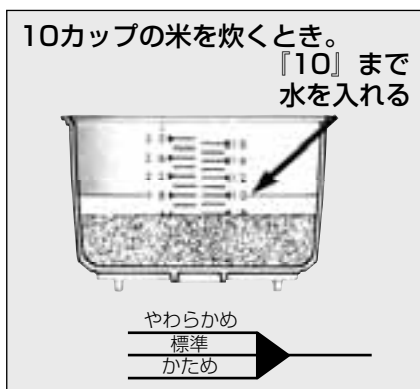
●たっぷりの水で手早く洗ってください。洗い足りないと、ニオイ・黄バミ・炊飯不良の原因になります。
●泡立て器などを使わないで手で洗ってください。

●洗米機に長時間かけると粉米が多くなり、炊飯不良の原因になります。
●最大炊飯量でうまくご飯が炊けない場合は、８割程度の炊飯量をおすすめします。

お願い

●かまのフッ素加工を長持ちさせるためにはボールなどをご使用ください。

2 水加減する

●お米は水平にならし、炊飯量に合わせて目盛りまで水を入れる。

●炊飯かまの水位目盛は標準の水加減です。お米の種類やお好みに合わせて水加減してください。

新　米	かため
古　米 麦まぜ米 標準価格米 胚芽精米	やわらかめ

ここがポイント 無洗米を炊くときのポイント

●水を加えた後、かき混ぜる
無洗米は水を加えると米の表面に気泡ができて、水が吸収されにくくなります。水を加えた後、かるくかき混ぜるとお米の周りの気泡が取れ、水を吸収しやすくなります。

●1〜2度すすぐ
無洗米の種類によってはデンプン質が多いものがありますので、そのまま炊飯すると炊飯不良の原因になります。1〜2度すすいでにごりを少なくしてからの炊飯をお勧めします。炊飯量が多い場合（最大炊飯量の8割以上）は、特によくすすいでください。また、炊く前に釜の底から軽くかき混ぜてください。

●お米をひたす
浸漬時間は一般の米と同じで夏場30分、冬場60分くらい必要です。

気をつけていただきたいこと

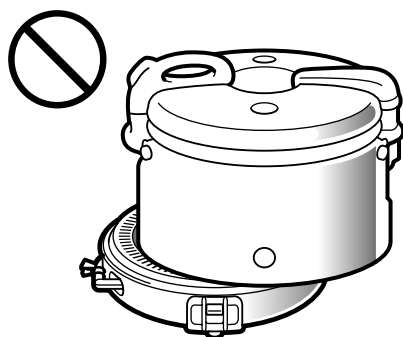
●白米以外のご飯を炊飯する場合
- 具を入れたり、味付けしたりするのでお米の量は最大炊飯量の1/2位にして炊いてください。具は水加減した後、お米の上に乗せ、かきまぜないでください。
- 具の種類や水加減によっては早切れしたり、吹きこぼれしてうまく炊き上がらないことがあります。また炊き上がっても底に焦げ色がつきます。
- もち米を混ぜて炊飯した場合、もち米の量によりうまく炊けないことがあるのでご注意ください。

●添加物について
- 添加物（油等）、調味料（バター、ケチャップ等も含む）を入れて炊飯すると炊飯不良の恐れがあります。

●機器のセット

1 外わく部を炊飯燃焼部に正しく乗せる

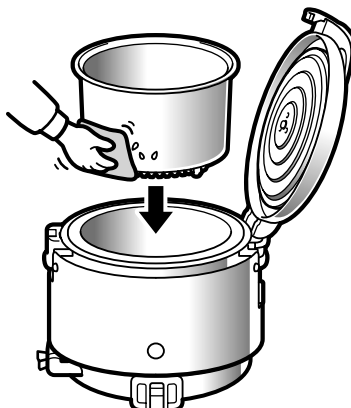
●外わく部を正しくセットしないと、炊飯できません。

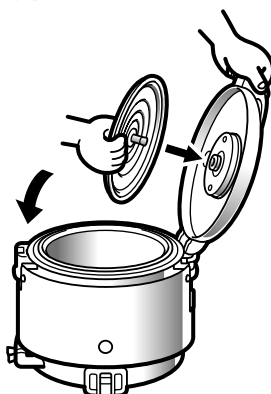
⚠注意

炊飯燃焼部の炊飯受け皿・感熱部に米つぶ・食品くずなどがついていると、正常に炊飯できません。外わく部をセットするときに、必ず取り除いてください。

お願い

●外わく部をセットするときに、電源コードがはさまらないように注意してください。

2 炊飯かまを外わくにセット

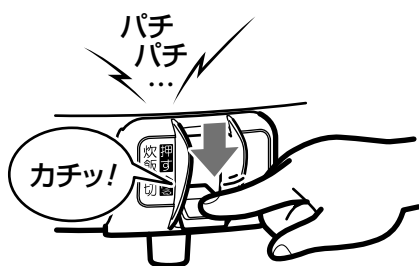
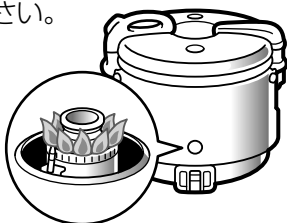
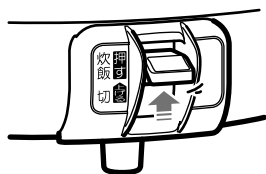
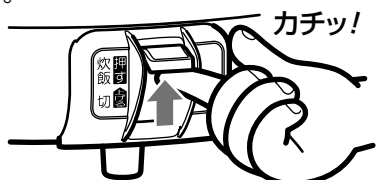
●炊飯かまの外側や底の水分・異物、外わくの内側に米つぶ・食品くずなどが付着していると炊飯不良の原因になるので、取り除いてください。

●水加減後30分〜1時間ぐらい水につけておくと、十分水分を吸収し、芯のないおいしいご飯が炊き上がります。

●内ぶたを外ぶたにセットし、外ぶたを閉める。

●点火·炊飯

1 ガス栓を全開にする

●炊飯レバーが「押す」（炊飯）の位置にあることを確認してからガス栓を開けてください。

2 バーナーに点火

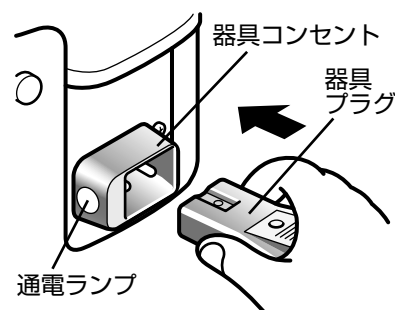
●炊飯レバーを下へ「カチッ」と音がするまで押し下げて、そのまま数秒間押し続けてください。

●手を離してもバーナーに点火していることを点火確認窓から確かめてください。

●炊飯レバーを押し下げた際、手を離すと途中までもどりますがセットされています。

●万一、バーナーに点火しなかったり、炊飯途中で火を消すときは、図のように炊飯レバーを「カチッ」と音がするまで強く引き上げてください。

お願い

●はじめてご使用になるときや、長い間使用にならなかったときなどはゴム管内に空気が入っていて、点火しにくいことがあります。この場合には、空気が抜けるまで、数回点火操作を繰り返してください。

●ゴム管内に空気が入っている場合、バーナーに点火しても消火することがあります。確実に点火していることを確認してください。(数秒間)万一、吹き消えなどで5秒間以上ガスが出た場合は、炊飯レバーを「止」の位置までもどしガスの臭いが消え、さらに数秒間待ってから点火操作を行ってください。

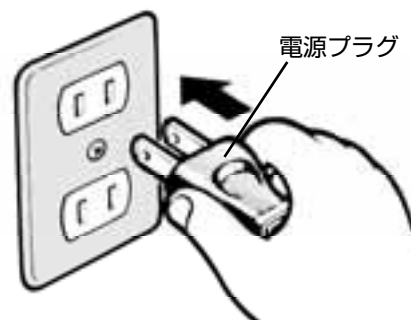
●連続して炊飯をする場合、感熱部が冷えてから実施してください。感熱部を冷まさずに炊飯すると炊飯不良になることがあります。

3 電源コードを差し込む

●保温が必要な場合はバーナーに点火したことを確認して、器具用プラグを器具コンセントに差し込む。

お願い

●お米を洗って水につけているときは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。お米がふやけて、炊飯できなくなる恐れがあります。

●器具用プラグを器具コンセントに差し込む際は、器具コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

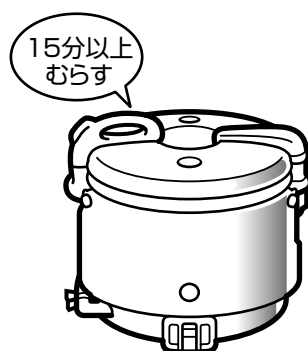
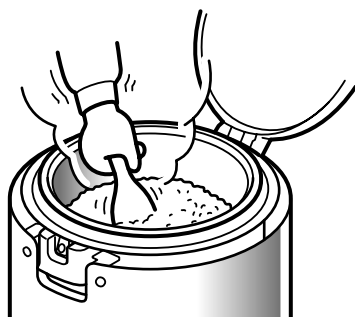
●電源プラグをコンセントに差し込む。器具コンセント前部の通電ランプ(オレンジ色)が点灯し、通電したことを示します。

●消火

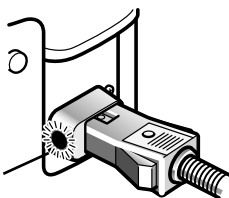
■炊飯が終わると…

●炊飯レバーは「押す」(炊飯)の位置にもどり、バーナーは消火します。

●消火を確認してからガス栓を確実に閉じてください。

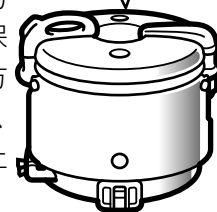
●むらし

●消火してすぐにふたを開けると、おいしいご飯になりません。消火してから必ず15分以上むらしてください。

●むらしが終ったあと、ご飯をよくほぐしてください。

●保温

●器具コンセント前部の通電ランプ(オレンジ色)が点灯していることを確認してください。

■保温中は必ず電源プラグを差し込んだままに。

●電源プラグをコンセントに接続し、保温を続けてください。

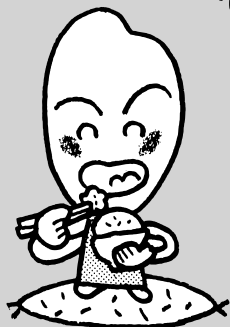
■保温は12時間まで

●12時間以上になると、保温臭や乾燥によるご飯の劣化が進みます。保温時間は短い方が好ましいので、早目にお召し上がりください。

■保温終了後は…

●保温終了後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

上手に保温しましょう

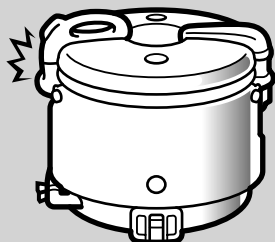
■ご飯を炊飯かまの中央によせる

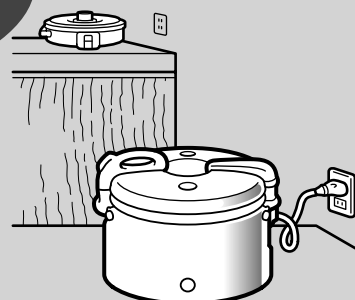
●炊飯かまの周囲についたご飯がパサパサになるのを防ぐことができます。

■停電したときは

●短時間なら問題はありませんが、長時間になってご飯が冷えてしまった場合は、再度保温しないようにしてください。

■外わく部だけで保温する場合

●耐熱性のある平らな所において保温してください。

ご飯は炊きたてがおいしい。でもこんなことに気をつけるとおいしくご飯を保温していただけます。

■ふたのロックは確実に

●外ぶた・内ぶたがしっかり閉まっていないとご飯の水分が逃げ、乾燥して黄変やいやなニオイの原因になります。

■外わく部を移動させる場合

●保温はすべて、電気で行いますので保温中、外わく部を移動させる場合は、電源プラグを別のコンセントに接続して保温を続けてください。

こんな保温はやめましょう……

黄バミ・ニオイ・パサつきの原因になります。

●12時間以上の保温
ご飯が劣化しパサつき、黄バミ、ニオイの原因になります。

●少ないご飯（お茶碗1〜2杯程度）の保温
ご飯の水分が早く蒸発し劣化が早くなります。

●しゃもじを入れたままの保温
しゃもじについた雑菌が増殖する恐れがあります。

●外ぶたにふきんをかぶせての保温
機器の損傷・火災の原因となります。

●冷えたご飯の再保温（長時間停電も同じ）
加熱する途中でご飯がこげたり、いやなニオイがすることがあります。

●直接風が当たる場所での保温
風が当たるところが冷やされ、部分的に適度な保温温度以下になる恐れがあります。

●炊きこみご飯や汁物などの保温
具などに変質しやすい物があると劣化が早くなります。

ひと工夫…

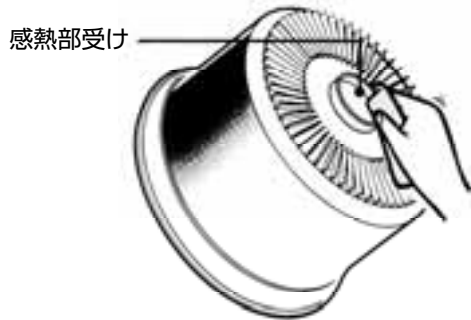
●残ったご飯や少なくなったご飯は冷凍保存し、電子レンジ等で温めなおすとおいしく食べられます。

あとかたづけ

お願い まず確かめてください。①ガス栓が閉じている　②電源プラグを抜いている　③機器が冷えている

●そのつどのお手入れ

■炊飯かま

●使用後はごはん粒・おねば等を洗い落とし、つねに水切りよく保存してください。
●炊飯かま底面の感熱部受けの汚れをきれいにふきとってください。汚れがつくと炊飯不良の原因になります。
●お手入れの際は、やわらかいスポンジなどを使い、研摩効果の高い洗剤やかたいスポンジ、金属タワシで洗わないでください。また、スプーンや食器などは入れないでください。

■外ぶた・つゆ受け枠

●外ぶた・外ぶた内側・つゆ受け枠は、よく絞った布でふいてください。

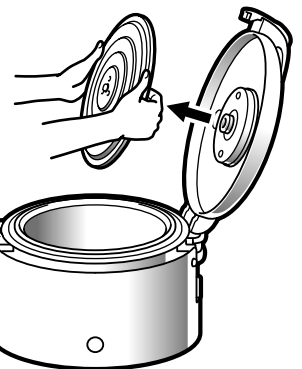
■ライスネットをお使いになる場合

●炊飯ごとに必ずお手入れを行ってください。
●炊飯後はそのつど、きれいに洗ってください。目づまりしていると、早切れ、炊きむらの原因となります。手洗いでは不十分ですので、洗濯機「すすぎモード」で水洗いされることをおすすめします。
●毎日の炊飯回数に応じた予備のライスネットを用意され、きれいに洗われたものを1回に限り使用していただく方法もおすすめします。たとえば、1日5回炊飯の場合は、5枚のライスネットを用意します。

■内ぶた・しゃもじ

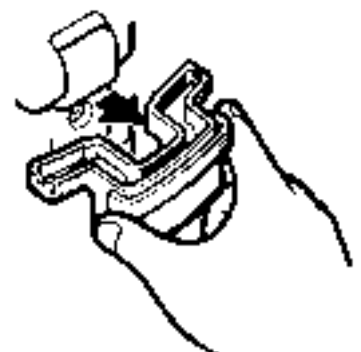
●そのつどやわらかいスポンジを使って洗ってください。汚れのとれにくいときは中性洗剤で洗って、よくすすいだあと乾いた布で水気をふいてください。
●内ぶたのフロートの下は汚れがつきやすいので、フロートを持ち上げて洗ってください。

▶内ぶたのはずしかた

内ぶたの両はしを持ち、内ぶた取付パッキンより引き抜きます。

■つゆ受け

●そのつど、つゆ受けにたまった水は、捨てて、きれいに洗ってください。

▶つゆ受けのはずしかた

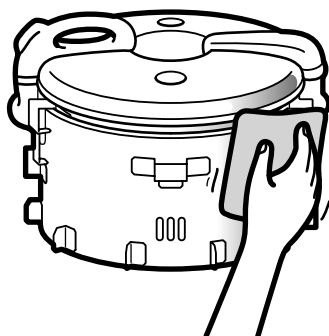
図のようにつゆ受けの先端（手前または奥のどちらか）に指をかけ、広げるようにして引っぱってください。

お手入れ

お願い まず確かめてください。①ガス栓が閉じている ②電源プラグを抜いている ③機器が冷えている

⚠警告

修理・改造は高度な専門知識が必要です。お客様自身では工具を使用して分解したり、
修理・改造は絶対に行わないでください。
火災・ガス漏れの恐れや異常動作してけがをすることがあります。

■炊飯燃焼部・炊飯受け皿・外わく本体

●よく絞った布でふいてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を浸した布で汚れを落とした後、洗剤分を十分ふきとり、最後にからぶきしてください。

■バーナー・感熱部

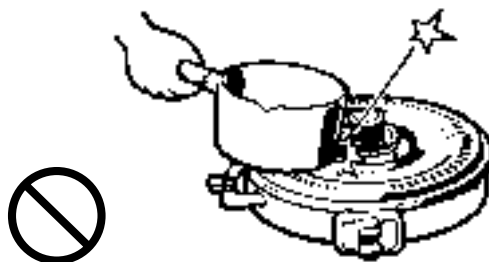
●バーナー炎口がつまっているときは針金などで取り除いてください。感熱部の汚れがこびりついて取れないときは極細目のサンドペーパー（目のあらさ400番程度）で表面に傷が付かない程度に軽くこすり取ってください。

●バーナーや感熱部などのお手入れの際は、けがをしないように手袋などをはめて行ってください。

⚠警告

機器には電気部品・安全装置が組み込んであります。水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電・不完全燃焼の恐れがあります。

■立消え安全装置

●やわらかな布などで汚れをふきとってください。汚れていたり、位置が変わると点火しにくくなります。固いものをぶつけたりして位置を動かさないようにしてください。

お願い

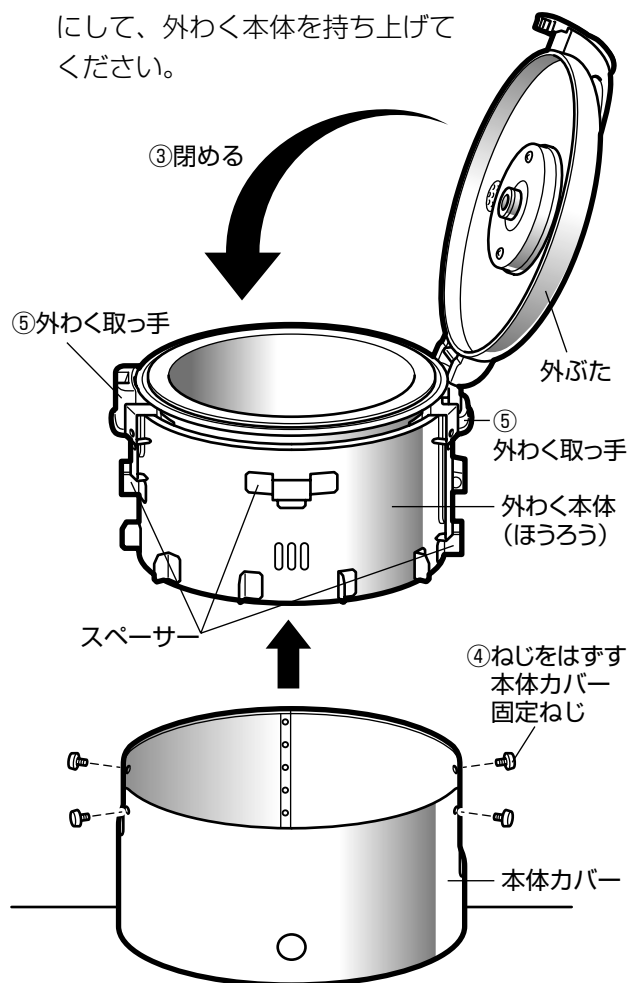
●プラスチック・ほうろうのお手入れには酸性・アルカリ性の洗剤・アルコール・シンナー・金属たわし・ナイロンたわし・クレンザー（みがき粉）などを使わないでください。

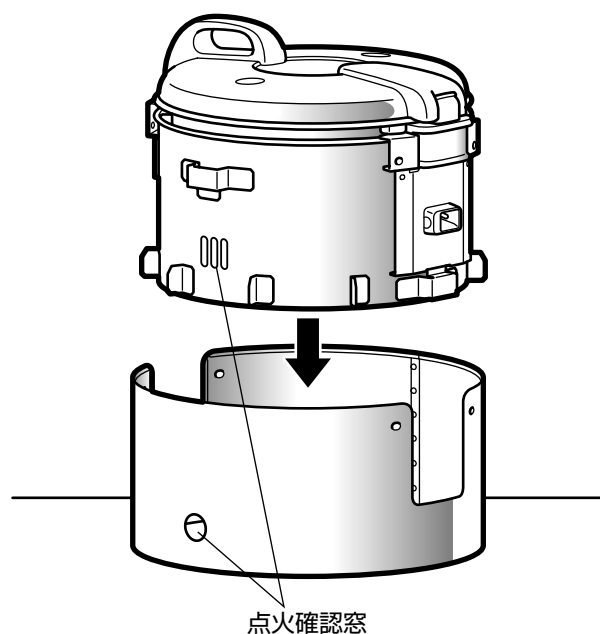
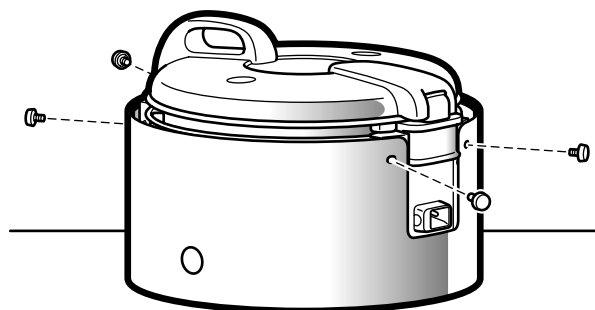
●炊飯かまおよび内ぶたはアルミ製品です。
食器洗い乾燥機でお手入れすると、専用洗剤の成分により表面が酸化して変色する恐れがあります。

■本体カバー

●よく絞った布でふいてください。汚れがとれにくいときは本体カバーを取りはずし、中性洗剤で洗ってよくすすいだ後、乾いた布で水気をとってください。金属たわしなどで強く洗うと、いたみますのでご注意ください。また、本体カバーは変形しないよう取扱いにご注意ください。

▶本体カバーの取りはずし

①外わくを炊飯燃焼部からはずし、安定した台に置く。
②内ぶた、炊飯かまを取り出す。
③外ぶたをしっかりと閉める。
④本体カバー固定ねじ（4本）を取りはずす。
⑤外わく取っ手を両手で持ち、外わく本体を持ち上げる。
※外わく本体を持ち上げても本体カバーがはずれないときは、スペーサーが引っかからないようにして、外わく本体を持ち上げてください。

▶本体カバーの取り付け

●本体カバーと外わく本体の点火確認窓が同じ方向になっているか確認し、本体カバーの切り欠き部と外わく取っ手がしっかりはまるように、外わく本体を入れます。

●本体カバー固定ねじ（4本）でしっかりと固定します。

お願い

●機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときは、やわらかい布などで汚れをふき取ってください。
また、お手入れの際には、はがれないようご注意ください。はがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所でラベルを再購入のうえ、張り替えてください。

消耗部品について

消耗部品はお買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所でお買い求めください。

■炊飯かま（フッ素樹脂加工）

●使っているうちに、色むら･ハガレができることがありますが衛生上問題ありません。万一食べてしまっても食品衛生法の基準内で問題はありません。ご使用に不便をきたすようになりましたら、炊飯かまだけをお買い求めください。
また、炊飯かまの側面等が凸凹になっている場合は炊飯かまの交換が必要です。

■その他部品類

●内ぶた、内ぶた取付パッキン、フロートの変形・変色・破損など、ご使用に不便をきたすようになりましたら、部品をお買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所でお買い求めください。しゃもじ・つゆ受けなども同様です。

フッ素樹脂加工をいためず、長持ちさせるポイント

●お手入れの際は、やわらかいスポンジなどを使い、研磨効果の高い洗剤やかたいスポンジ、金属たわしで洗わない。また、スプーンや食器などは入れない。
●付属のしゃもじを使う。
●炊きこみやおこわなど調味料を使った後は、すぐに洗う。
●酢などの酸の強いものは使わない。
●炊飯かまでお米を洗わない。

もしイヤな臭いがついた場合は

●炊飯かまに計量カップ2～3杯の水を入れ、炊飯かまを本体にセットし、炊飯の要領で点火し、水がなくなって、自動消火するまで煮沸してください。自動消火した後、30分以上たってから炊飯かま･内ぶたを取り出して、きれいに水洗いし、乾いた清潔なふきんで水気をふきとってください。（使用直後は高温のため、取扱いに注意してください。）

故障や異常の見分け方と処置方法

⚠ 警告

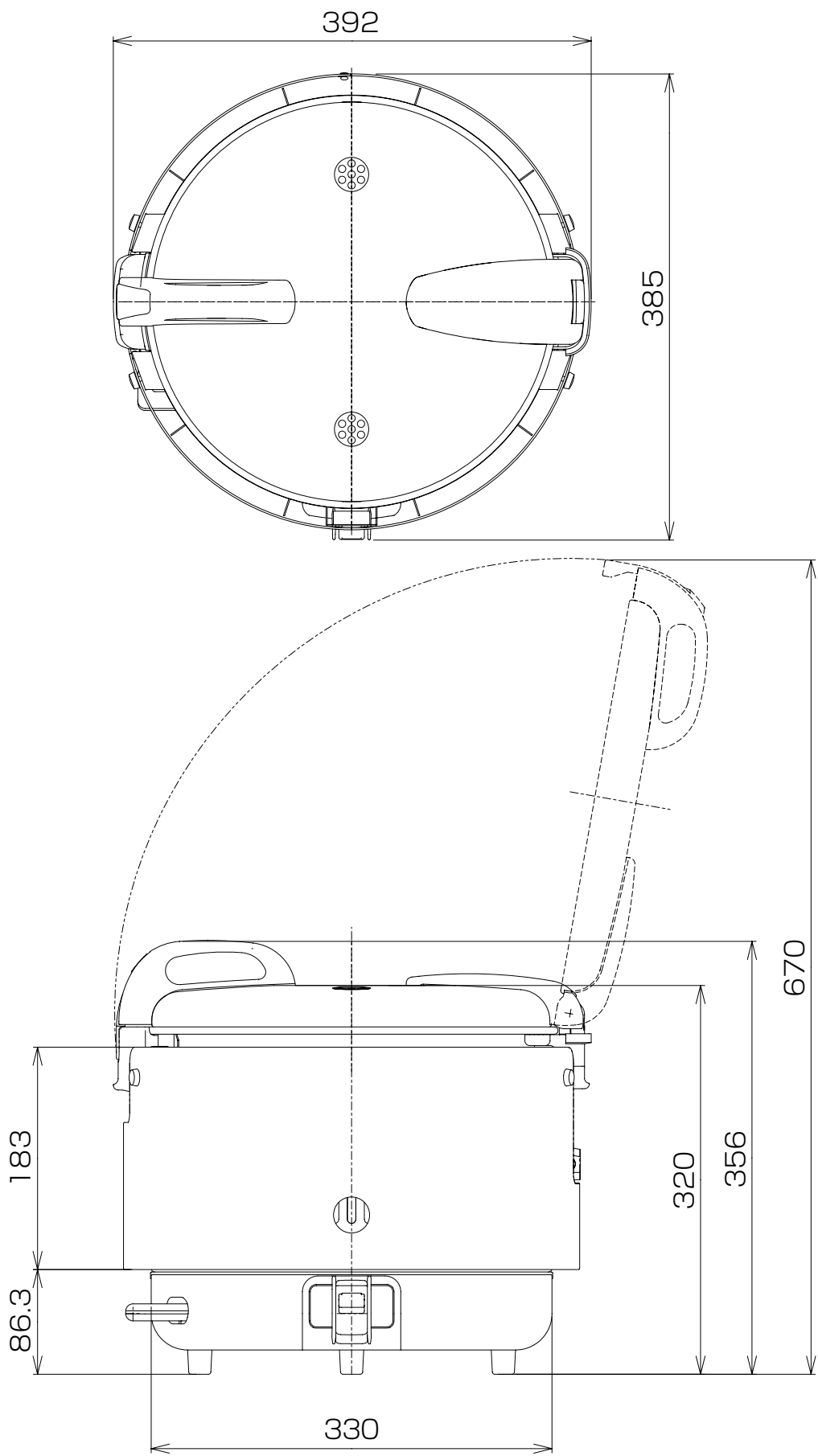
使用中に異常を感じたとき　①すぐに使用を中止する　②あわてず、ガス栓を閉じる　③電源プラグを抜く

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現　象	原因と処置	
点火しない 点火しにくい 使用中に消火した	1.ガス栓が全開になっていない 2.機器セット不良 3.ゴム管の折れ曲り・つぶれ 4.点火操作が適切でない 5.LPガスがなくなりかけている 6.乾電池の消耗	→ 全開にする → 正しくセットする → 折れ・曲りを直す → 押し時間を長くする → 新しいボンベに交換する → 新品と交換する
炎が安定しない 黄炎で燃える 異常音をたてて燃える	1.バーナー炎口づまり 2.LPガスがなくなりかけている	→ 炎口づまりを掃除する → 新しいボンベに交換する
ご飯がうまく炊けない ・自動消火しない ・早切れする ・ふきこぼれが多い ・ご飯がこげる ・炊きむらがある	1.機器が傾いている 2.機器セット不良 3.感熱部・感熱部受けの汚れ・異物付着 4.水加減不良 5.洗米不良 6.ご飯をほぐしていない・むらしていない 7.ライスネット使用時ライスネットの目づまり	→ 正しく設置する → 正しくセットする → 汚れ・異物を取り除く → 正しく水加減する → 正しく洗米する → 15分むらし後、よくほぐす → ライスネットをよく洗う
保温中のご飯が ・べとつく ・硬くなった ・臭いがする ・変色している ・さめている	1.ご飯をほぐしていない 2.よく洗米していない 3.炊飯かま、内ぶた、つゆ受けのお手入れ不足 4.12時間以上、または少量のご飯を保温している 5.しゃもじを入れたままか、冷やご飯・ご飯のつぎたしを保温している 6.長時間の停電があった 7.外ぶた・内ぶたがきっちりとしまっていない 8.器具用プラグの差し込み不足	→ 15分むらし後、よくほぐす → 水がきれいになるまでお米を洗う → そのつどお手入れする (4〜7) → 14ページの「上手に保温しましょう」の項を参照する。 → 器具用プラグを器具コンセントに確実に差し込む
ガスのにおいがする	ガスゴム管のひび割れ、穴あき	→ ガスゴム管を交換する
ふきこぼれや、風などで炎が消えたとき	安全のため立消え安全装置が働き、自動的にガスが止まります。消火に気付いたときは、すぐ炊飯レバーを「押す」（炊飯）にしてください。再点火するときは、周囲にガスがなくなってから点火操作してください。	

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にご連絡ください。

寸法図

〔単位：mm〕

仕様

品　　　　　名		RR-S15VNS
炊　飯　量（ℓ）		0.6〜3.0
外形寸法〔㎜〕	高　さ	356
	幅	392
	奥　行	385
質　　　量（kg）		10.2
ガ　ス　接　続		φ9.5㎜ガス用ゴム管
電　　　　源		AC100V
消費電力（W）		160
点　火　方　式		放電点火式
安　全　装　置		立消え安全装置
付　　属　　品		しゃもじ･計量カップ･乾電池･取扱説明書（保証書付）･連絡先一覧表･電源コード

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■個別ガス消費量

使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量
形式の呼び	**RR-S15VNS**
LPガス	2.21kW
13A	2.21kW
12A	2.06kW

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

長期間使用しない場合

乾電池を抜き各部の汚れを取除き、十分に乾燥してからほこりなどの異物が入らないようにビニールに包み、お求めになったときの箱に入れ湿気やほこりの少ないところへ保管してください。
特にガス通路部分（ガス接続口）には、ほこりが入ってガス通路をつまらせないように、お買い上げになった際に取付けられていたキャップをガス接続口にはめてください。

■乾電池に関するご注意

●機器を廃棄する際は必ず乾電池を取り外してください。火災等の原因となります。

アフターサービスについて

■サービス（点検・修理など）を依頼される前に

●19ページの「故障や異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓を閉じ、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

①製品名・ガスの種類
②形式の呼び（銘板表示のもの）
③故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
④ご住所・お名前・電話番号
⑤訪問ご希望日

●定期点検のすすめ。（有料）
安心してお使いいただくために、定期的に点検を受けてお手入れされることをおすすめします。

■転居される場合

●ガスには都市ガス数種類およびLPガスの区分があります。

⚠警告

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。
転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店、またはもよりのガス事業者にご相談ください。

●転居にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

●裏表紙が保証書になっています。
●当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください。）
●保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間について

●この機器の補修用性能部品の保有期間は、当製品の製造打切後６年間となっています。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

■アフターサービスなどの連絡先

●お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にご連絡ください。
●別添の「連絡先一覧表」を参照してください。

リンナイフリーダイヤル
0120-054-321

■お客様の個人情報の取り扱いについて

●当社は、お客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
●当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

保証書

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から 1 年間とし、機器本体を対象とします。
   保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
   ただし、消耗部品は、保証の対象ではありません。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、別添の『連絡先』一覧表をご覧の上、当社事業所にご連絡ください。
4. 本保証書は、再発行いたしませんので大切に保存してください。
5. 無料修理についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災、塩害、地震、風水害、落雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、ねずみ、鳥、くも・昆虫類等の侵入、その他天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
（ニ）車両・船舶への搭載で使用された場合の故障および損傷。
（ホ）本書の提示がない場合。
（ヘ）本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
（ト）指定外の燃料、使用電源（電圧）の使用による故障および損傷。
（チ）ご転居などによる熱量変更に伴なう改造・調整の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別添の「連絡先」一覧表をご覧の上、当社事業所にお問い合せください。

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	年　　月　　日

販　売　店		扱者印	
住　　　所			
電　話　番　号			

お客様へ

この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ 株式会社
〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表 052(361)8211

ARR39-1003(01)
11.04 ◎
06000004230470